

演題:「視野障害と浮動感で来院した 58 歳男性の一例」

喜界徳洲会病院 初期研修医
宇治徳洲会病院二年次 山内 菜津子

抄録；

前日から継続する浮動感、視野のぼやけの主訴で来院された 58 歳男性。
身体所見にて右方注視がみられたが、他は異常がみられなかった。
異常は右方注視のみ、という珍しい症例を経験したため報告する